

問8(イ)

図2をもとに、冬の日本における、太平洋側の各地の天気について説明したものとして最も適するものを一つ選び、その番号を書きなさい。

1. 雪の日が続くことが多い。
2. くもりや雨の日が続くことが多い。
3. 乾燥した晴れの日が続くことが多い。
4. 天気が周期的に変わることが多い。

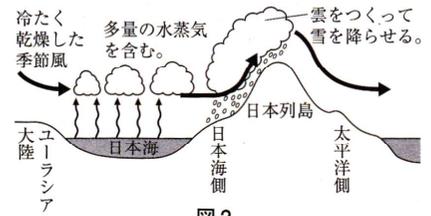
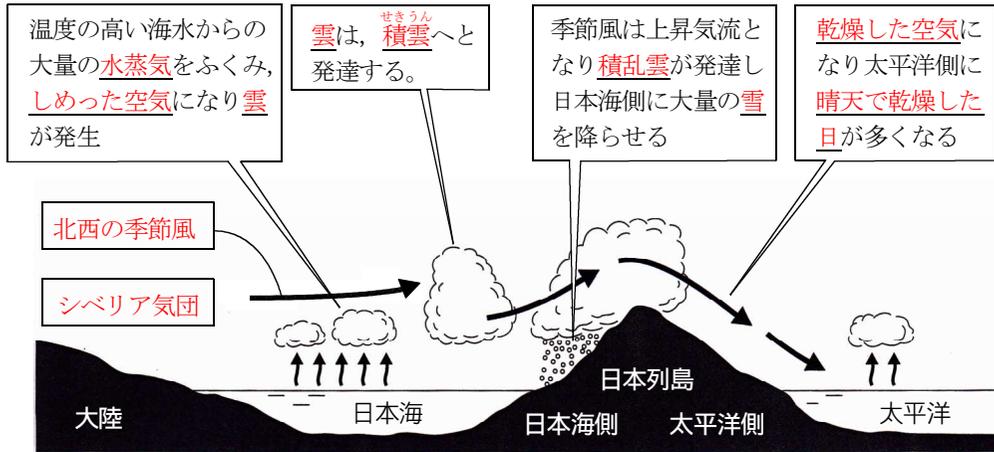


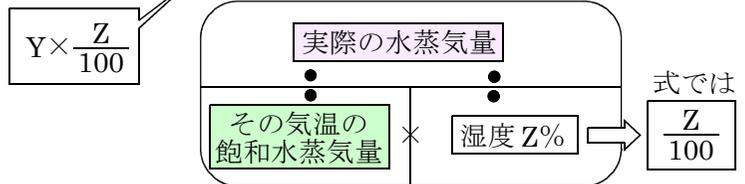
図2



問8(ウ)

気温 [°C]	0	2	4	6	8	10
飽和水蒸気量 [g/m³]	4.8	5.6	6.4	7.3	8.3	9.4

気温がX [°C] での飽和水蒸気量をY [g/m³] として、気温がX [°C]、湿度がZ [%] の空気1 m³中に含まれる水蒸気量を式で表すと、 a である。この式から、気温 実際の水蒸気量



が10°C、湿度が60%の空気1 m³中に含まれる水蒸気量を求め、それをもとにこの空気の露点を $9.4 \times \frac{60}{100} = 5.64g \Rightarrow$ 露点 $b=2^\circ C$ (雲ができる気温)

考えると、この空気の露点は (b) °Cである。空気の温度は、高さが100m上昇するごとに1°Cの割合で下がるので、山のふもと (標高0m) で10°Cの、この空気のかたまりが上昇して雲ができ始めるのは、標高 (c) mの地点であると考えられる。

